

## 第2学年 体育科学習指導案

指導者

### 1. 単元名 「虫たちの ぼうけん! (表現遊び)」(6時間単元)

### 2. 指導を進めるにあたっての基本的な考え方

#### こんな子どもを

- これまでの体育学習の、1年生の表現遊びでは、いろいろな動物になって、動物の動きを表現する活動を行っている。2年生では、運動会の表現運動で曲に合わせて楽しく踊る経験をしている。休み時間に曲を流して、友だちと教えあって踊る姿も見られた。水遊びでは、バディを組んで、色々な場で協力しながら遊ぶこともできた。その一方、遊び方を工夫したりする子は少なかった。
- アンケートの結果から、体育の学習が「とても好き」「好き」と答えた子は80% (16人)であったのに対し、表現遊びが「とても好き」「好き」と答えた子どもは55% (11人)であった。「あまり好きではない」「きらい」と答えた子の理由は、「どう動いていいかわからない」「なりきるのがはずかしい」が多かった。本単元では、「あまり好きではない」「きらい」と答えた子どもたちに、友だちと関わることで、動きの具体的なイメージを広げ、動きに工夫を加えて踊る楽しさを味わわせたい。

#### こんな教材で

- 表現遊びは、身近な動物や乗り物などの題材の特徴をとらえて、そのものになりきって全身の動きで表現したり、軽快なリズムの音楽に乗って踊ったりして楽しむことができる運動遊びである。また、友達といろいろな動きを見つけて踊ったり、みんなで調子を合わせて踊ったりして楽しむ運動遊びである。
- 本題材は、知っている虫や好きな虫、自分が変身してみたい虫などになりきって、全身の動きで表すことに楽しさがある。また、友達と一緒に1つの虫や生き物になって動いたり、簡単なお話をつくって変身を持続させたり、見ている人に動きがわかってもらえたりしたときに、さらにおもしろさが増す題材である。

#### こんな支援で

- グルーピングについて  
誰とでも協力して楽しく踊ることを大切にし、日頃の固定したグループにならないように気をつける。男女混合グループにすることで、イメージの広がりや深まりを期待したい。
- 場づくり  
「はじめ～な～か～終わり」のお話作りやイメージが膨らむような場や動きに変化をつけやすい(①高低②スピードの強弱③声、音)「ドロドロ沼」を設定する。子どもたちの描いた絵、写真を掲示して使う。また、活動の場は固定せず、自由に使えるようにすることで、他のグループとも交流できるようにする。
- 交流のさせ方  
「やってみる」では、一人でなりきる楽しさを十分味わわせることで広げるための下地作りをする。その場にいる友達と一緒に踊ることで、かかわり合いの楽しさを感じさせる。イメージカルタに楽しんだ動きを言葉で伝える。「ひろげる」では、友達とかかわることで、楽しさやイメージが広がったり、技能が高まったりすることに気付かせ、動きに工夫を加えて踊る楽しさを味わわせたい。単元の終わりには、見せ合いをし、表現の良さや楽しさを感じて終われるようにする。

#### めざす子どもの姿

- 身近な題材の特徴をとらえ全身で踊ることができる子ども。(技能)
- 運動に進んで取り組み、だれとでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができる子ども。(態度)
- 簡単な踊り方を工夫できる子ども。(思考・判断)

3. 学習と指導の計画（全5時間）

|          | 1   | 2   | 3  | 4  | 5（本時）  | 6   |
|----------|---|---|--|--|--|---|
| めざす子どもの姿 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな友達と一緒に踊って楽しむことができる。（技）</li> <li>○これからの学習内容に興味・関心を持つ。（態）</li> <li>○変身したい虫をイメージしたり考えたりすることができる。（思・判）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○思いつくまま自由に踊ることができる。（技）</li> <li>○思いつくまま自由に踊ろうとしている。（態）</li> <li>○イメージカルタから虫の動きの特徴をとらえることができる。（思・判）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな虫になりきって踊ることができる。（技）</li> <li>○いろいろな虫になりきって踊ろうとしている。（態）</li> <li>○イメージカルタから虫の動きの特徴をとらえることができる。（思・判）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○体全体を使って感じができるように踊ることができる。（技）</li> <li>○友達と関わりながら感じが出るように踊ろうとしている。（態）</li> <li>○選んだ虫にふさわしいお話と変化する場面を考え、動き方を工夫することができる。（思・判）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○体全体を使って変化をつけて踊ることができる。（技）</li> <li>○友達と関わりながら変化をつけて踊ろうとしている。（態）</li> <li>○選んだ虫にふさわしいお話と変化する場面を考え、動き方を工夫することができる。（思・判）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○体全体を使って変化をつけて踊ることができる。（技）</li> <li>○友達と関わりながら変化をつけて踊ろうとしている。（態）</li> <li>○友達の動きのよいところを見つけることができる。（思・判）</li> </ul> |
|          | <p>1. 学習内容を知り、見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のねらいを知る。</li> <li>○学習ノートの使い方を知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>めあて</b> イメージをだしあって、イメージバスケットをつくろう。</p> </div> <p>2. 体ほぐしをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○円形コミュニケーションをする。</li> </ul> <p>3. 題材に対するイメージを広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○題材の確認をする。</li> <li>○イメージを出し合い、イメージバスケットをつくる。</li> <li>※「どこをぼうけんしてる？」「どんな虫がいるかな？」「どんな動きかな？」などの言葉かけでイメージを広げさせる。</li> </ul> <p>（イメージバスケット）</p> <p>4. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習ノートを書く。</li> <li>○次時の学習内容の確認</li> </ul> | <p>1. 体ほぐしをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○円形コミュニケーションをする。</li> </ul> <p>2. 学習の準備をし、めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>やってみる</b><br/>いろいろな虫の ようすや かんじを みつけて おどろう。</p> </div> <p>3. イメージカルタをめくって、即興で踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人で、またはその場にいる友達と一緒に踊る。</li> <li>※即興表現を楽しませるために、動きや表情を称賛する。</li> <li>※踊れない子どもには、教師と一緒に動きを考えたり、友達の動きをまねてもよいことを伝えたりする。</li> </ul> <p>（イメージカルタ）</p> <p>4. 「おはよう シャイニングデイ」を踊る。</p> <p>5. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習ノートを書く。</li> <li>○楽しかったこと（場面や様子）を出し合う。</li> </ul> | <p>1. 体ほぐしをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○円形コミュニケーションをする。</li> </ul> <p>2. 学習の準備をし、めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>ひろげる</b> すきな 虫を えらんで うごきに へんかをつけて おどろう。</p> </div> <p>3. イメージカルタをめくって、即興で踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の好きな場を選んで、カルタをめくって踊る。</li> <li>○友達と関わって踊る。</li> <li>○気に入った動きを繰り返したり、つなぎ合わせたりして踊る。</li> <li>※友達と関わりながら楽しく踊っている様子を称賛する。</li> <li>※楽しくなる「まほう」として、「なき声・音」や「速く・遅く」など変化する動きが取り入れられることに気付かせる。</li> </ul> <p>（予想される子どもの姿）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ちょうちょうみたいにゆっくり動いてみよう。</li> <li>○かぶと虫みたいに力強く動こう。</li> <li>○台風虫だからものをふきとばすように動こう。</li> <li>○びよ～ん虫のように高くなったり、低くなったりしてみよう。</li> </ul> <p>4. 「おはよう シャイニングデイ」を踊る。</p> <p>5. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習ノートを書く。</li> <li>○友達と関わって楽しかったことを出し合う。</li> </ul> | <p>3. グループでお話を作り、表したいイメージが表れるように動きを工夫して踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「はじめ～なか～おわり」のひとまとまりのお話を作って踊る。</li> <li>○楽しくなる「まほう」を取り入れて、動き方を工夫して踊る。</li> <li>○「大変だ！」の場面を入れて踊る。</li> <li>※グループで話し合ってから踊るのではなく、踊りながらイメージや動きのアイデアを出し合って作品づくりを進めるようにさせる。</li> <li>※ お話が作れないグループには、イメージバスケットからイメージを膨らませたり、イメージカルタをつなげたりしてつくっていくように伝える（場の掲示物にイメージバスケット出てきた動きをはっておく）</li> <li>※楽しくなる「まほう」として、音や変化する動き取り入れるように指導する。</li> <li>※ 動きの工夫による表現のよさに気付かせるために、必要に応じてグループ間の交流（見せ合い）をさせる。</li> </ul> <p>（予想される子どもの姿）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○はなばたけではゆっくり、水辺では水をのむように、ドロドロぬまではぬまにはまって苦しくしよう。</li> <li>○草原ではびよんびよんとびはねる、池ではぶか～んとうかんでいる、ドロドロぬまではどこまでもしずんでいく感じにしよう。</li> </ul> <p>4. 「おはよう シャイニングデイ」を踊る。</p> <p>5. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習ノートを書く。</li> <li>○グループで踊って楽しかったことを出し合う。</li> </ul> | <p>1. 体ほぐしをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○円形コミュニケーション</li> </ul> <p>2. 学習の準備をし、めあてを確認する。</p> <p>3. グループで作ったお話の見せ合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○見てもらう前に、つくった簡単なお話のあらすじを伝える。</li> <li>※友達の動きのよいところを見つけるように助言し、踊っている相手の気持ちになって見るようにさせる。</li> </ul> <p>（見せ合いのポイント）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで気持ちを合わせて踊っていたか。</li> <li>・楽しくなる「まほう」が使えていたか。</li> <li>・「大変だ！」の動きがよくわかったか。</li> </ul> <p>4. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習ノートを書く。</li> <li>○他のグループの表現の工夫やよいところなどを出し合う。</li> </ul> |   |

#### 4. 本時学習

(1) 本時 平成24年 月 日 ( ) 体育館


#### (2) 本時の目標

- 体全体を使って変化をつけて踊ることができる。 (技能)
- 友達と関わりながら変化をつけてを踊ろうとしている。 (態度)
- 選んだ虫にふさわしいお話と変化する場面を考え、動き方を工夫することができる。 (思考・判断)

#### (3) 準備

イメージカルタ、イメージバスケット、学習ノート、筆記用具、CDデッキ、CD、冒険の世界への入り口 (フラフープ)、すみか (マット)

#### 5. 展開 (5/6)

|   | 学習活動と内容   | 学習活動に即した支援   |       |             |             |      |     |   |
|---|---|--|-------|-------------|-------------|------|-----|---|
|   | 1 体ほぐしをする。<br>○円形コミュニケーションをする。<br>2 学習の準備をし、めあてを確認する。<br>○安全面に気をつけて、協力して場づくりをする。<br>○めあてを確認する。  | ※ 心がほぐれるように、教師も一緒に体ほぐしをして、楽しい雰囲気をつくる。<br>※ 前時までの「まほう」について振り返らせる。(なき声や音、変化する動きなど) |       |             |             |      |     |   |
| <b>ひろげる</b> すきな 虫を えらんで うごきに へんかを つけて おどろう。 |   |  |       |             |             |      |     |   |
|   | 3 グループでお話を作り、表したいイメージが表れるように動きを工夫して踊る。<br>○「はじめ～なか～おわり」のひとまとまりのお話を作って踊る。<br>○楽しくなる「まほう」を取り入れて、動き方を工夫して踊る。<br>○「大変だ！」の場面を入れて踊る。<br><br><予想される活動の場><br><table border="1" data-bbox="197 1234 820 1424" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">ステ<br/>ー<br/>ジ</td> <td>水辺の場</td> <td>草むらの場</td> <td rowspan="2">どろどろ沼<br/>の場</td> </tr> <tr> <td>花畑の場</td> <td>林の場</td> </tr> </table><br><予想される子どもの姿><br><div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="197 1487 608 1576" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 200px;">             楽しくなる「まほう」をたくさん使ってみよう！           </div> <div data-bbox="683 1496 778 1599" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="719 1630 1062 1733" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;">             ゴソゴソ、もぞもぞ。鳴き声や音をつけると楽しい           </div> </div><br><div data-bbox="268 1787 616 1890" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 180px; margin-left: auto; margin-right: auto;">             高さ、はやさ、声を意識して動くと楽しいね！           </div> | ステ<br>ー<br>ジ   | 水辺の場  | 草むらの場       | どろどろ沼<br>の場 | 花畑の場 | 林の場 | ※ グループで話し合ってから踊るのではなく、踊りながらイメージや動きのアイディアを出し合って作品づくりを進めるようにさせる。<br>※ お話が作れないグループには、イメージバスケットからイメージを膨らませたり、イメージカルタをつなげたりしてつくっていくように伝える。<br>※ 動きの工夫による表現のよさに気付かせるために、必要に応じてグループ間の交流（見せ合い）をさせる。<br>※ お話作りやイメージが膨らむような場を設定することで、動きに変化をつけやすくする。<br>※ 動きに変化が起こることが期待できる場として「どろどろ沼の場」を設定する。<br>※ 活動の場は固定せず、自由に使えるようにすることで、他のグループとも交流できるようにする。<br>※ 楽しくなる「まほう」として、音や変化する動きを取り入れるように指導する。<br><br>※ 学習の最後にリズムダンスを踊ることで、一緒に活動した友達との一体感や充足感を共有させる。<br>※ 学習のまとめでは、友達とかかわることで、楽しさやイメージが広がったり、技術が高まったりすることに気付かせ、動きに工夫を加えて踊る楽しさを味わわせる。 |
| ステ<br>ー<br>ジ                                | 水辺の場  |  | 草むらの場 | どろどろ沼<br>の場 |             |      |     |   |
|   | 花畑の場  | 林の場  |       |             |             |      |     |   |
|   | 4 「おはよう シャイニングデイ」を踊る。<br>5 学習のまとめをする。<br>○学習ノートを書く。<br>○グループで踊って楽しかったことを出し合う。   |  |       |             |             |      |     |   |